

INTERNET YELLOW PAGES

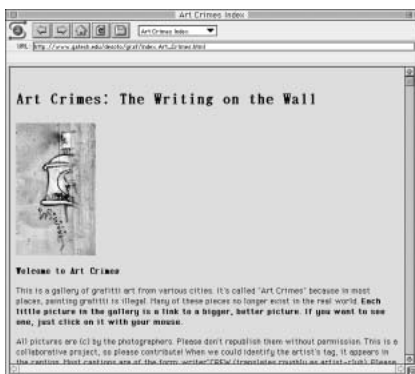


Volume 2: Art

Art Crimes: The Writing on the Wall

ACCESS to http://www.gatech.edu/desoto/graf/Index.Art_Crimes.html/

ロサンゼルス、フレズノ、プラハ、アトランタ……いながらにして世界の都市のストリート・アート「落書き」が楽しめるサイバーバンクなアート・ギャラリー。



今回紹介するホームページの中でも最もユニークな試みが、この世界中の都市のgraffiti(落書き)を集めた「Art Crimes: The Writing on the Wall」だ。

落書きといっても、かのキース・ヘリング



スの例もあるように、ただの落書きではない。どれもカラフルなスプレーを巧みに使った「作品」とも呼べるようなものである。

もちろん、こうした「作品」を制作することはほとんどの場所では違法であり、現実の

社会ではすぐに消されてしまう運命にある。ここに収められたのは、そうした「作品」を写真撮影したもので、実物はすでにこの世に存在しない……つまり、実際には消されてしまったものが、なんとネットワークを通じて世界中に飛び交ってということになる。

この事実とその力強い表現に、なにか一種不思議な感銘を受けてしまう。サイバーバンク・アートとも言うべきだろうか？

現在はロサンゼルス、フレズノ、プラハ、アトランタなどの都市で制作(?)、撮影されたものが収録されているが、内容は常に更新されるらしいので時々立ち寄って、「最も新しく、すでに存在しない世界の落書き」を見るというのも一興だろう。

ANIMA:

Arts Network for Integrated Media Applications

ACCESS to <http://www.wimsey.com/anima/ANIMAhome.html/>

アーティストのコミュニティ、IPプロバイダ、行政が一体で作
り上げたカナダ生まれのインターネット・アート百科事典？



かのマーシャル・マクルーハンを生んだ国、カナダの西海岸バンクーバーで、今年の春オープンしたマルチメディア文化情報サービスである。

アーティストとコンピュータ関係者のコミュニティを中心に、インターネット上のマルチメディア・アプリケーションの開発とプロモーションを目標に結成された“Web-Weavers”というグループが全体の管理にあたっているが、カナダのメディア・アート会議や地元のIPプロバイダーであるWimsey社、さらにバンクーバー文化連盟の後押しを受けているだけに、かなり大規模な内容もっている。アート・コミュニティと公共的性格の強い企業、行政が三位一体となったメセナ活動の好例だ。

ANIMAはクリエイティブな協調作業を行なうバーチャル・コミュニティの開発や、アートとテクノロジーの研究ツールとしてのネットワーキング、アート表現およびコミュニケーションのための場の構築を目指しており、さまざまなアート表現や文化理論、実験プロジェクトなど、アバンギャルドな表現活動から最先端の科学技術の探究に、創造的メディアとしてテレコミュニケーションをいかに活用するかをテーマとしている。まさに「メディアはメッセージである」を体現する場といってもよいだろう。



その内容は、世界中のアート関連のWWWページへのリンクを収集し、さまざまなカテゴリーに区分した「ArtWorld」も、アート関連のニュースおよび電子出版などの分野をカバーする「Spectrum」も、アーティストによるオンライン・ギャラリー「NEXUS」も、アートとテクノロジーに関するリファレンス・ライブラリ「ATLAS」も、メディア・ツールや情報科学とデザインの応用研究を扱う「Techne」も、このコミュニティのディスカッションや発表の場である「Persona」などからなっている。

ギャラリーである「NEXUS」では現在、詩と映像によるプレゼンテーション、インターネットを利用したグラフィックス制作の共同作業、メディア環境に関する論文、ハイパーテキスト構造を使った言語表現の実験などが行われている。原稿執筆時点で見た限りでは、展示されている内容は残念ながらわかりやすいとはいえない。

また他の部分にしても、あらかじめ枠を大きく取りすぎたためか、若干内容不足という感じがすることはいえないが、開設されてからまだ1年に満たない状態である。今後の発展を楽しみにすべきだろう。

しかし、「Visual Arts」「Mass Media」「Literature」「Video」「Performance」「Design」に分類されたインデックスと130以上のリンクをもつ「ArtWorld」は、すで

にかなり充実したものになっている。「アート」という概念自体が問題にされてから久しいが、「新しい時代のアート」に関して、まずどのようなアプローチと情報サービスがあるのかを知るうえで便利だろう。以下にそのサブカテゴリーの一部を掲載しておく。

VISUAL ARTS

--Experimental Art: Web Art and Online Experiments--Miscellaneous--Artists: Works by Individuals--Art and Technology--Digital Art--Science and Art--Traditional and Fine Art-- (サブカテゴリー)

MASS MEDIA

--Mass Media and Pop Culture-- ANIME Art Gallery、Ian Ferrell's commentary on the TV series Melrose Place、Oscar Art Direction、Rec.Arts.TV.* -- Is It An Art?、Satellite TV Images、The U-Michigan Collection of Entertainment Images (gopher)

LITERATURE--Literary Arts: Online Libraries--Personal Stories and Writings--Magazines and Journals-- (サブカテゴリー)

VIDEO--The Moving Image-- Animation, Film and Video Experimental Film and Video (gopher)

PERFORMANCE--Audio Arts: Music and Sound-- (サブカテゴリー)

DESIGN--Built Space: Architecture, Environmental Planning and Urban Design-- (サブカテゴリー)

(Art)ⁿ Gallery

ACCESS to <http://artn.iit.edu/>

CG業界の老舗メーカーのサーバで、80年代アメリカのコンピュータ・グラフィックスの歴史をふりかえる。



三次元CGの透過型ハードコピーで知られるPHSCologramsを販売している(Art)ⁿLaboratory社のサーバ。同社は1983年にシカゴのコンピュータ・ビジュアルアーティストたちが設



立した会社で、ダン・サンディン、トム・デファンティら80年代のACM・SIGGRAPHを取りしきってきたイリノイ工科大学シカゴ校のElectronic Visualization Lab (EVL)の

人々やNCSA、フェルミ研究所、NASAなどと3Dのサイエンス・ビジュアライゼーションの研究を行ってきた企業だ。

収められている作品は「Early PHSCologram」「(Art)ⁿ/NCSA/EVL」「Video PHSCologram」「Virtual Photography」「Commerical」という区分になっており、サイエンス・モデルのビジュアライゼーションにとどまらず、コカコーラ、ドンキーコングなど、きれいなコマース作品もある。

ギャラリーは作品が同社の歩んできた時代順にレイアウトされているので、今や世界的イベントとなってしまったSIGGRAPHの黎明期の活動を画像を通して楽しんでみてはどうだろう。

Horror, fantasy, and the grotesque in art

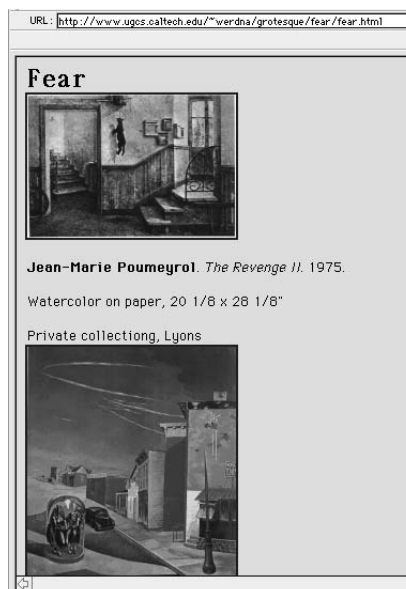
ACCESS to <http://www.ugcs.caltech.edu/~werdna/grotesque/grotesque.html/>

グロテスクな絵画を集めたギャラリー。“気持ち悪さ”もCRT上で眺めればそれなりにクールな世界。



ムンクの『叫び』の入ったホームページで始まるこのギャラリーも、かなりユニークな存在である。

収録アーティストは Ivan Albright、Miriam Beerman、William Blake、Edward John Bur-



ra、Luis Caballero、Bruce Conner、Salvador Dalí、Paul Delvaux、Otto Dix、Max Ernst、Philip Evergood、H.R. Giger、Gregory Gillespie、Sidney Goodman、Francisco de Goya、Nancy Grossman、George Grosz、Lous Guglielmi、Alfred Kubin、Edvard Munch、Jean-Marie Poumeyrol、Illya Repin、Larry Rivers、Sibylle Ruppert、Sibylle Ruppert、David Alfaro Siqueiros、Lucas Samaras、George Tooker、Antoine Wiertz など

「視覚的暴力性のある内容のため、成人向けです」という但し書があるが、アーティストたちが描こうとした近代人の抱えている根源的な不安も、グロテスクな絵画のコレクションとしてJPEGでCRTの上に表示されてしまえば、いたってクールな世界である。

Le WebLouvre

世界で最もオーソドックスな美術館をテーマにしたインターネット・プレゼンテーション。

ACCESS to <http://mistral.enst.fr/~pioch/louvre/louvre.html>



ルーブル美術館といえば世界で最もよく知られた美術館の1つだが、そのインターネット版ともいえるのが、この「Le WebLouvre」だ。

テレコム・パリのNicolas Pioch氏によって運営されているこのサイトは94年3月20日にオープンし、6月にインターネット接続されて以来、アクセス回数が2か月で10万を超えるほど、インターネット上でも最も知られたホームページの1つとなっている（ちなみに、この原稿執筆にあたってアクセスしたところ、185,745番目のユーザーと表示された）。

WebLouvre は同じサイトで提供されている「パリ・ガイド」とともに、別項で紹介しているANU（Australian National University）と並んで今年の“Best of WWW”の“Best Use of Multiple Media”を受賞している。この受賞に際しては、テキストに加えてグラフィックスやビデオ、音声といったさまざまな形式のメディアが効果的に演出されていること、またサイズの大きいマルチメディア・ファイルのダウンロードによってネットワークのトラフィックが増加するのを避けるために、サムネイルを使った点や、ドキュメントを小さく分割したなどの点が評価されたと

いう。その意味で、Mosaicを使ったインターネット上のインタラクティブ・プレゼンテーションを計画している人にはよいお手本となるだろう。

なお、このサーバはいわゆるバーチャル・ミュージアムであり、必ずしも本家のルーブル美術館の展示内容とオフィシャルな関連はないと説明されているが、ここまで世界的に知られる存在になれば、世界中の美術館・博物館から新しい展示様式として認知されるのも近いと思われる。

現在のメインメニューは「Famous Paintings exhibition」と題した、日本でもファンの多い印象派の絵画のコレクションを中心としたものだが、このほかにも「Baroque (1600-1790)」「Revolution and Restoration (1740-1860)」「Cubism to Abstract Art (1900-1960)」などのテーマのインデックスが設けられ、解説とともに代表的なアーティストの作品を見ることができる。

また「Baroque」「Classicism」「Cubism」「Dada」「Expressionism」「Futurism」「Impressionism」「Realism」「Romanticism」「Surrealism」といった絵

画のスタイルごとの解説、さらにアーティスト別のインデックスもある。

収録されているアーティストは以下のとおり。

Zacharie Astruc、William Blake、Sandro Botticelli、Eugene Boudin、Marie Bracquemond、Gustave Caillebotte、Lewis Carroll、Paul Cézanne、Marc Chagall、Thomas Cole、John Singleton Copley、Jasper Cropsey、Salvador Dalí、Edgar Degas、Eugène Delacroix、Jean-François de Troy、Albrecht Dürer、M(aurits)C(omelius) Escher、Jan van Eyck、Théodore Géricault、Vincent van Gogh、Francisco de Goya、Jean-Baptiste Armand Guillaumin、Johan-Barthold Jongkind、Wassily Kandinsky、Gustav Klimt、Laurent de La Hire、Alphonse Legros、Leonardo da Vinci、Claude Lorrain、René Magritte、Edouard Manet、Henri Matisse、Alphonse Maureau、Miró Joan、Michelangelo、Claude Monet、Berthe Morisot、Edvard Munch、Nehemiah Partridge、Pierre Patel、Pablo Picasso、Ludovic Piette、Camille Pissarro、Rembrandt、Pierre-Auguste Renoir、John Singer Sargent、Egon Schiele、Georges Seurat、Joshua Shaw、Alfred Sisley、Benjamin West、William Winstanley

好きなアーティストを選べば、それぞれのアーティストごとの解説と作品数点を楽しむので、気に入ったものがあればセーブしてスタートアップ・スクリーンにしてみるのも楽しいだろう。

また絵画鑑賞のバックグラウンド・ミュージックも用意されており、回線の余裕さえあれば絵画を見ながら音楽も楽しむことができるように工夫されているという。

THE ELECTRIC GALLERY

ACCESS to <http://www.egallery.com/egallery/>

米軍侵攻で揺れる話題の国、ハイチの別の一面、トロピカル・スピリットに触れる。



おそらく多くの日本人にとって、ハイチは遠い国だろう。米軍の進攻、軍事政権の崩壊が昨今のニュースで話題のカリブ海の小国。そんなハイチでもサーバは動いている。

THE ELECTRIC GALLERYが展示してい

Room 1



Jacques Valindor
"Pêche Miraculeuse"
(Miracle of the Fish)
20X24 in.
oil on canvas
unframed \$275

Françoise Eliassaint
"Mariage a la Campagne"
(Rural Wedding)
20X24 in.
oil on canvas
unframed \$250

Eni
"Apparition Erzulie"
(Vision of Erzulie)
24X30 in.
oil on canvas
unframed \$575

る作品のほとんどは日本では馴染みのない作家のものだが、中にはニューヨークの近代美術館に所蔵されたものもあるという。絵画としてはアフロ=インディアン=フレンチ=スパニッシュの混合、そしてどこかにブードゥ

の影響がうかがえるプリミティブ・アート、あるいはフォーク・アートとでも呼べそうなもので、日常生活とスピリチュアルな超自然世界が入り交じったきらめくような色彩の世界である。とはいっても、それは発光するCRTの上でこそ、そう見えるのかもしれない。すべての作品が販売の対象となっており、価格もそれほど高くはない。

解説にはハイチの生活を描いたナイーブなアートとの記述があるが、残虐な報復処刑が懸念される熱帯の国のもうひとつの側面と、こうした感性がどう折り合うのが、本当に「不思議な国のサーバ」である。

ArtServe: Australian National University

ACCESS to <http://rubens.anu.edu.au/>

ギリシャ・ローマ文明はどのように東方に展開していったのか。世界のアートをダウンアンダーから眺めてみる。



「WebLouvre」と並んで94年の「Best of WWW」の「Best Use of Multiple Media」を受賞した「ArtServe」は、オーストラリア・ナショナル・ユニバーシティのMichael



Greenhalgh教授が中心となって運営されているサーバだ。

内容は、15世紀から19世紀末までのアート作品が2800点。これに最近地中海地方の

古典建築および建造物の彫刻が2500点ほど加えられ、さらに今年のクリスマスまでには19世紀までのヨーロッパの彫刻や建築のビジュアル・データを3000点ほど追加する予定だという。このほか、香港のモダン建築、トルコの古代遺跡などが収められている。

利用者の利用している回線速度に合わせて、サムネイル付きで、あるいは無しでインデックスを見ることができる。

ただし、まだ調整中のところも多く、カバーしている範囲も従来の西欧中心的美術史に慣らされた人には、関心が東方に偏っているような気がするかもしれないが、これがオーストラリアで美術史を研究する理由の1つなのだろう。

ASCII Art WWW Archive

高度な3D-CGが当たり前の今、かえって文字だけの画面が意外に新鮮だ。

ACCESS to <http://www2.ncsu.edu/unity/users/c/chking/HTML/HTMLs/ascii.html>



「コンピュータ・アート」という言葉が非常に古臭くなってしまった今、逆に最も「プリミティブ」なコンピュータ・アートが面白い。

「アスキー・アート」とは、簡単にいえば、ASCIIコードでアサインされているキャラクタを使っている画像を描いてしまおうというものである。最も小さなものではメッセージの文末でよく見られる「:-)」などもその1つだ。ここに収められているのは「alt.ascii-

art」などのニュースグループで制作されたもので、そういわれれば、そう見えなくもない「悪魔の牛」などというものから、詩の文章を白鳥の形にレイアウトした“インテグレートド・アスキー・アート”と呼べそうなものまで幅広い。

また、これらのファイルは「ftp.ncsu.edu:/pub/ncsu/chking/Archive」へanonymous FTPすることでも見ることができる。

制限のないところに表現はない(？)、コンピュータで自由に絵を描くことができないもどかしさを逆手にとって、アスキー・キャラクタで遊んでしまうところに、このアーカイブの爽快感がある。

Other WWW&Gopher Servers

aart Gallery Home Page

http://www.wimsey.com/Generality/aart_Gallery.html

写真家 Matthew Wolchock の作品や女性のヌード写真など。

Adam's Home Page

<http://bastille.gatech.edu/adam/home.html>

Artに関するサーバへのリンクが豊富。

Amiga-generated art

<http://www.cs.cmu.edu:8001/Web/People/mjw/Computer/Amiga/Gallery/>

アミーガ関係の作品。

ANBG On-line Exhibitions and Images

<http://155.187.10.12/fun/exhibits.html>

動植物、自然風景やスミソニアンからの科学に関する写真など。

Ansel Adams:Fiat Lux Photography Exhibit

<http://bookweb.cwis.uci.edu:8042/AdamsHome.html>

写真家 Ansel Adams の作品。

ARTHOLE

<http://www.mcs.net/~wallach/arthole.html>

殺人現場の写真など、暗めのサーバ。

ArtMetal Home Page

<http://warchive.wustl.edu/edu/arts/metal/>

Metalを題材とした作品がたくさん。

Art

<http://akebono.stanford.edu/yahoo/Art/>

非常に多くのArtに関係しているサーバリンクがはられている。

Art: Erotica

<http://akebono.stanford.edu/yahoo/Art/Erotica/>

Erotic な作品があるサイトへのリンクが豊富。

Art and Architecture

<http://english-server.hss.cmu.edu/Art.html>

モナリザ、ギリシャ建築など。

Art Nouveau Informational Page

<http://www.enst.fr/~derville/AN/AN.html>

「Art Nouveau」という美術の動きについての情報。

Art on the Net

<http://www.art.net/>

インターネットで一緒に作品を作りましょう！

Art related mailing lists

<http://www.willamette.edu/~jpatters/art-lists.html>

Art に関する ML のリスト。

Art School (Images from the World of Art)

<http://orange-room.cc.nd.edu/toybox/ArtSchool/ArtSchool.html>

サーバも、ここにある作品もすべて Mac による。

Art Shows by Simran Singh Gleason

<http://www.art.net/Artists/Simran/shows.html>

Simran Singh Gleason による見事な写真など。

ART TOWER MITO, Contemporary ART Center.

<http://www.soum.co.jp/mito/art-e.html>

茨城県の水戸美術館。イベントの紹介などがある。

Association for Computing Machinery SIGGRAPH

<http://www.siggraph.org/>

SIGGRAPH の作品や情報。

atom Virtual Gallery

<http://www.atom.co.jp/GALLERY/>

Hisayoshi Osawa 氏による erotic な写真、Keiji Ito 氏のきれいなイラストなど、日本の atom のサーバ内にある Galleryo。

Avi Rozen, Computer Artist (Israel)

<http://www.technion.ac.il/avi-rozen/>

コンピュータアーティスト Avi Rozen 氏による不思議な作品。

A Gallery of Interactive On-Line Geometry

<http://www.geom.umn.edu/apps/gallery.html>

ピンボールや 3D の画像を自分の好きなように作り替えるものなどインタラクティブな作品。

A Multimedia Information Page

<http://cbl.leeds.ac.uk/mm/default.html>

MIME の tutorial ドキュメントなど。

A small archive of images by Salvador Dali

<http://www.eunet.es/spain/images-dali/>

Salvador Dali の有名な作品を手に入れることができる。

Center for Integrative Studies in the Arts and Humanities

<http://web.cal.msu.edu/>

ミシガン州立大学の Center for Integrative Studies に関する情報。

Center for Research in Computing and the Arts

<http://crca-www.ucsd.edu/>

カリフォルニア大学の CRCA の活動。

Chemistry Art Gallery

<http://www.csc.fi/tul/chem/graphics.html>

化学の分野で生まれたきれいな写真やアニメーション。

Chesley Bonestell Interactive Art Gallery

<http://www.secapl.com/bonestell/top.html>

Chesley Bonestell 氏の木星や月などの絵画によって宇宙旅行ができる。

Christopher Y. Blosser's Online Gallery

http://www.c2.org/blosser_cy/

Christopher Blosser 氏によるユニークなイラスト。

Cloud Gallery

<http://www.commerce.digital.com/palo-alto/CloudGallery/home.html>

雲の写真。それが入っている CD-ROM の注文もできる。

CMU SCS OZ Project Home Page

<http://www.cs.cmu.edu:8001/afs/cs.cmu.edu/project/oz/web/oz.html>

カーネギーメロン大学の interactive drama を作るためのプロジェクト。

CNAM

http://web.cnam.fr/index_english.html

パリの National Conservatory of Arts and Crafts。

Computer Graphics

<http://mambo.ucsc.edu/psl/cg.html>

CG に関係したサーバへのリンクがたくさん張られている。

CROSSWIRE Images (experiment in collaborative art)

http://cui_www.unige.ch/OSG/OtisCrosswire/

ある人が作った作品に次の人が書き足し、その次の人がまた書き足して完成品が作られる。その過程と、完成品。

Cybercafe

<http://www.cybercafe.org/cc/>

エレクトリックアートとそれに関する情報を提供している。

Delft University of Technology Digital Picture Archive

<http://olt.et.tudelft.nl/fun/pictures/pictures.html>

ミッキーマウスの画像がある。gopher サーバへのリンクが豊富。

Department of Art (Appalachian State University)

<http://www.acs.appstate.edu/art/>

ミケランジェロの David などの彫刻を見ることができる。

Design Research Centre Virtual Gallery

<http://dougald.derby.ac.uk/gallery/drc-gallery.html>

イギリスのアーティストや学生による作品を紹介している。

Digital Image Center

<http://www.lib.virginia.edu/dic/>

ルネサンス、バロック建築、アフリカン・アートなど。

Drux Gallery

<http://www.wimsey.com/Generality/Drux.HTML>

小さな electric gallery。

DWTKS, Dialog with the Knowbotic South. (ISEA '94)

http://www.khm.uni-koeln.de/kr+cf/knowbotic_south.html

ISMAP をサポートしていないクライアントだと見ることができない。

Erico Menczer:"A Man with the Umbrella"

<http://www-cse.ucsd.edu/users/fil/erico.html>

Erico Menczer のかなりの量の絵画と写真など。

Events....(Art on the Net)

<http://www.art.net/Happenings/events.html>

Art 関係のイベントがたくさん掲載されている。

Exploratorium

<http://www.exploratorium.edu/>

サンフランシスコのPalace of Fine Arts 中にある美術館。

EXPO World Wide Web Exhibit Organization(Soviet Archive Exhibit, 1492 Exhibit, etc)

http://sunsite.unc.edu/expo/ticket_office.html

Soviet Archive Exhibit, 1492 Exhibit など質の高いサーバ

Filter Art

http://cui_www.unige.ch/OSG/FilterArt/

Simon Gibbs による「Filter Art」

FineArt Forum

http://www.msstate.edu/Fineart_Online/home.html

きれいな画像が非常に豊富にある。

Fine Arts at Mount Allison University

<http://www.mta.ca/FineArts/FineArts.html>

マウントアリントン大学の学生や教授など関係者によるArt 作品。

Fractal pictures & animations

<http://www.cnam.fr/fractals.html>

フラクタルの画像やアニメーション。

Frederick R. Weisman Art Museum

<http://www.micro.umn.edu/weisman/museum.html>

Frederick R. Weisman Art Museum の情報や作品。

Golf Art / Pictures

<http://dallas.nmhu.edu/golf/image.htm>

オーガスタ13番ホールや、ゴルフボールなどのイメージが手に入る。

Graphics Archive

http://sgi1.phlab.missouri.edu/HOMES/cckirk_www/graphics.html

3D MODELS, パーチャルリアリティなど。

GRN: Decoded pictures and sounds from newsgroups

<http://www.cs.ubc.ca/grn/virtual>

alt.binaries.pictures, alt.asci-art などからのデコードされたファイルがある。

Guild Exhibit - Digital Photography '94

<http://www.bradley.edu/exhibit/index.html>

Peoria Art Guild のオンライン写真展覧会。

Graphics, Visualization & Usability (GVU) Center

<http://www.cc.gatech.edu/gvu/gvutop.html>

Georgia Institute of Technology の質の高い研究を見ることが出来る。

HBK Saar(School of the Fine Arts)

<http://www.phil.uni-sb.de/projekte/HBKS/htm/hbks.html>

ドイツの学生の作品などを見ることが出来る。

HEI Art Gallery(If you want to add your masterpiece, contact me)

<http://heiwwww.unige.ch/art/>

広く世界から作品を募集してそれをon-line で提供する。

Helena Richardot

[http://www710.univ-](http://www710.univ-lyon1.fr/Art_Galery/Helena_RICHARDOT/helena.html)

[lyon1.fr/Art_Galery/Helena_RICHARDOT/helena.html](http://www710.univ-lyon1.fr/Art_Galery/Helena_RICHARDOT/helena.html)

Lyon のフランス人画家Helena Richardot の作品。

Henry Houh's Photo Gallery

<http://tms-www.lcs.mit.edu/people/hhh/photos/gallery.html>

Henry Houh のFireworks やBoats at Sunset, といった写真。

Hunstville Museum of Art

<http://www.crystaldata.com/hma/>

Hunstville Museum of Art のイベント情報や作品など。

HypArt - The Project

<http://rzsun01.rz.uni-hamburg.de/cgi-bin/HypArt.sh>

1つの作品を世界中の人と共同で作成することができる。部
品を選んで、それに書き足しましょう!

Ideal Copy(contemporary art)

<http://brains.race.u-tokyo.ac.jp/ic.html>

東京大学にサーバを置く現代Art のプロジェクト。通貨制度
への攻撃などが行われている。

Images by Scott Draves(flame and fuse)

<http://www.cs.cmu.edu:8001/afs/cs.cmu.edu/user/spot/web/images.html>

Scott Draves による幻想的な写真やアニメーション。

Images for Art History at the Australian National University

<http://www.ncsa.uiuc.edu/SDG/Experimental/anu-art-history/home.html>

印刷の歴史が学べたりする。オーストラリア国立大学。

International Interactive Genetic Art II

<http://robocop.modmath.cs.cmu.edu:8001/htbin/mjwgenformII>

すごくきれいなCGを見ることが出来る。また作品に点数をつ
けて投票することができる。

ISEA '94 Information(INTERNATIONAL SYMPOSIUM ON ELECTRONIC ART)

<http://www.uiah.fi/iseaw/www/>

電子芸術に関する国際的なシンポジウムISEA '94 の情報。

Jane Patterson's home page

<http://www.willamette.edu/~jpatters/art>

1人の女性の真実と美の探求。

John Casler(HyperGeneration Project)

<http://csmaclab-www.uchicago.edu/caz/theShow.html>

John James Casler 氏による幻想的なCG。

Kaleidospace

<http://kspace.com/>

独立した芸術家が彼らの作品を世界に売る場所。on-line や
Fax などで注文ができる。

Krannert Art Museum

<http://www.ncsa.uiuc.edu/General/UIUC/KrannertArtMuseum/>

Krannert Art Museum のAsian art Sculpture など非常にた
くさんの作品。

Kyushu Institute of Design (KID) Home Page

<http://www.kyushu-id.ac.jp/>

バカ道場、RAKUDA HOME PAGE など非常にユニークな KID 関係者の作品を見ることができる。

Labyrinth Galleries

<http://www.honors.indiana.edu/art/>

ビジュアルアートのコレクションをしている小さいサーバ。

La Trobe University Art Museum

<http://www.latrobe.edu.au/Glenn/Museum/ArtMuseumHome.html>

オーストラリア人 Clifton Pugh 氏らの作品を紹介している小さなサーバ。

Lite-Brite(making things with light...)

<http://www.galcit.caltech.edu/~ta/lb/lb.html>

小さい gif ファイルの多数の組み合わせでできた作品。自分の作品を作ることもできる。

Marius Watz' Art Gallery

<http://www.uio.no/~mwatz/art/gallery/>

ノルウェーの Marius Watz' のコンピュータアート。

MedienbiennaleLeipzig94 - Minima Media

<http://www.uni-leipzig.de/medien/biennale.html>

Neue Bundeslaender (ドイツ) で11月1日迄開かれた media art のイベントについてのサーバ。

MICHAEL C. CARLOS MUSEUM homepage

<http://www.cc.emory.edu/CARLOS/carlos.html>

Michael C. Carlos Museum の13900点、9000年のスパンの作品が紹介されている。

MKZDK's gallery of works

<http://www.nets.com/mkzdk>

きれいで幻想的な人間を題材とした作品。

Museum of New Zealand

<http://www.uni-passau.de/forwiss/mitarbeiter/freie/ramsch/Museum/>

Museum of New Zealand の建物の写真や作品など。

Nathan Wagoner's Digital Studio

<http://heiwawww.unige.ch/art/wagoner/>

Nathan Wagoner さんの絵画やCG。

Natural History Museum's World-Wide-Web Server

<http://www.nhm.ac.uk/>

Natural History Museum の作品やイベント情報。

Netboy - The Best Internet-only Comic

<http://www.interaccess.com/netboy.html>

Netboy というほのぼのした6コマぐらいの週刊の漫画。

NWHQ

<http://www.wimsey.com/~jmax/index.html>

私たちは独立したアーティストです。また独立したアーティストを支持します。

Original Art by Paul Heavens

<http://sfgate.com/gallery/>

Paul Heavens が Adobe Photoshop で作った非常にきれいな作品群。

OTIS On-line Gallery Project(on UWI's Web's Edge)

<http://kzsu.stanford.edu/uwi/otis/otis.html>

多数のサーバにまたがり、アニメ、フォト、エロスなど非常に多くの作品をftpベースでとってこれることができる。

Photopia(first Stock Photo House on the Internet)

<http://www.solutionsrc.com/PHOTOPIA/>

写真をon-lineで購入することができる。また自分の写真をここで販売することもできる。

Pixel Pushers(The Gallery of Collectible Digital Fine Art)

http://www.wimsey.com/Pixel_Pushers/

世界のトップレベルのイラストレーターやファインアーティストによる作品。注文もだせる。

Space, NASA, Travel, etc Images

<http://white.nosc.mil/images.html>

タイトルにあるイメージのほかにも世界中の国旗など、数えきれないほどの画像を手に入れることができる。

Public Domain, Inc.(explore the interface between art, technology, and theory)

<http://noel.pd.org/>

Public Domain, 社の小さいサーバ。

ROBOCOP.MODMATH.CS.CMU.EDU Base Page(School of Computer Science)

<http://robocop.modmath.cs.cmu.edu:8001/>

3つのインタラクティブアートプロジェクトをサポートするためのサーバ。それらを見て投票することができる。

Rob's New Multimedia Lab

<http://www.acm.uiuc.edu/rml/>

風を飛ばそう、フラクタルムービー、エルビスは生きているなどイリノイ大学のRob氏によるマルチメディア。

Sculpture Tour at the University of Tennessee, Knoxville

<http://loki.ur.utk.edu/sculpture/sculpt.html>

かなりたくさん彫刻を見ることができる。

Shremographs(Three dimensional kinetic art by Steven Shrem)

<http://www.webscope.com/shremographs/info.html>

Stephan Shrem 氏による3Dアート。注文もできる。

SIRDS Gallery(created with SIRDSANI and xpgs)

<http://h2.ph.man.ac.uk/gareth/gif.html>

IRDSANI, xpgs というソフトによって作られたステレオグラムや3Dアート。これらのソフト自体も手に入れることができる。

SPRAXLOID: Spraxlo's Illusions & Dreams

<http://www.ai.mit.edu/~spraxlo/o/SPRAXLOID.html>

MIT のSpraxlo のかなり手のこんだページ。

Strange Interactions(An online art exhibit by John Jacobsen)

<http://amanda.physics.wisc.edu/show.html>

John Jacobsen のかなりの量の質の高い作品。

Stuart Collection of Sculpture at the University of California

<http://gort.ucsd.edu/sj/stHome.html>

カリフォルニア大学のStuart Collection of Sculpture。

SunSITE Mathematical Art Gallery

<http://sunsite.unc.edu/pics/mathgif.html>

OTIS archives のmath-art セクション。

Syracuse University Computer Graphics for the Arts

<http://ziris.syr.edu/home.html>

シラキュース大学のCG for the Arts Departmentのデジタルギャラリー。

The Asian Art Gallery

<http://www.nets.com/asianart/>

チベットやヒマラヤのアート。

The Doctor Fun Archive(cartoons)

<http://sunsite.unc.edu/Dave/archive.html>

デブ・ハーレイさんによって毎日書かれる一コマ漫画。

The Edgerton Center's Online Photo Gallery

<http://the-tech.mit.edu/Gallery/gallery.html>

きれいな写真をたくさん見ることができる。

The Implicate Beauty of the Algorithm

<http://www.vanderbilt.edu/VUCC/Misc/Art1/Beauty.html>

Brian Evans 氏の非常にきれいなコンピューターアートがたくさんある。

The Ohio State University at Newark, Art Gallery

<http://www.cgrg.ohio-state.edu/mkruse/osu.html>

オハイオ州立大学のアートギャラリーのイベントや作品など。

The Online Museum of Singapore Art & History

<http://king.ncb.gov.sg/nhb/museum.html>

シンガポールのArtや歴史が紹介されている。

The World-Wide Web Virtual Library:Art

<http://info.cern.ch/hypertext/DataSources/bySubject/Litterature/Overview.html>

Artに関係しているサーバへの多数のリンク。

The @art Gallery(an electronic art gallery)

<http://gertrude.art.uiuc.edu/@art/gallery.html>

昆虫の写真などを見ることができる。

Through Lover's Eyes

http://www.potsdam.edu/art_expo/titlpage.html

Linda Strauss さんがとった写真をPhoto-CDに入れて、Photoshopで編集したもの。

todd christopher tibbetts' home

<http://www.well.com/Community/WholeEarth/tt.home/tt.html>

ビーンスタークスの選択式アドベンチャーゲームを楽しむ。

T&T Software WWW Server

<http://ttsw.com/Default.html>

フラクタルの画像を見ることができる。

University of Art and Design Helsinki UIAH

<http://www.uiah.fi/>

University of Art and Design Helsinkiの作品など。

University of California Museum of Paleontology

<http://ucmp1.berkeley.edu/>

University of California Museum of Paleontologyの展示作品など。天気と時刻もわかる。

University of South Florida College of Fine Arts

<http://arts.usf.edu/>

College of Fine Artsの活動が紹介されている非常に美しいサーバ。

University High Laboratory School "electronic gallery"

<http://superdec.uni.uiuc.edu/departments/finearts/art/artspace/uniartspace.html>

University High Laboratory Schoolの生徒や教授による作品が展示されている。

Vern's SIRDS Gallery

<http://www.cs.uidaho.edu/~vern/sirds/>

多くのきれいなステレオグラム(SIRDS)を見ることができる。

Whole Internet Catalog — Arts & Humanities

<http://nearnet.gnn.com/wic/hum.toc.html#histart>

Artに関するサイトへのリンク。文学や映画に関係したサーバへも行ける。

WtR Arts, Culture, History and Human Sciences Page

<http://www.kiae.su/www/wtr/arts.html>

現代ロシアArtやクレムリンの美術館の作品などを見ることができる。

xtoys gallery(images created by the programs in Xtoys)

<http://penguin.phy.bnl.gov/www/xtoys/gallery/gallery.html>

xtoys というプログラムによって書かれた作品。

Putrid Afterthought,(underground net)

<http://underground.net/Art/mendoza.html>

気持ちの悪い絵がたくさんある。

Art and Technology dirctory

[gopher://actlab.rtf.utexas.edu/11/art_and_tech](http://actlab.rtf.utexas.edu/11/art_and_tech)

日本のアニメの情報やCyberpunk、SFについてのFAQなど。

Boston Area Museums - Via Harvard

[gopher://gopher.bu.edu/11/MetroGuide/Culture/Museums/](http://gopher.bu.edu/11/MetroGuide/Culture/Museums/)

JFK Library & Museum, Boston University Art Galleyなどの情報。

California Museum of Photography

[gopher://gopher.ucr.edu/11/Campus%20Events/](http://gopher.ucr.edu/11/Campus%20Events/)

California Museum of Photographyのイベント情報、作品。

Gopher List(California Museum, Asia Collection,Vatican, etc)

[gopher://twinbrook.cis.uab.edu/1galleria.70](http://gopher.twinbrook.cis.uab.edu/1galleria.70)

California Museumの作品、Asia Collection, Vaticanなど作品数が数えきれないほど多い。

Michigan State University Online Photo Gallery

gopher://burrow.cl.msu.edu/11/about_msu/gallery

ミシガン州立大学に關係する建物やイベントの写真。

Minneapolis College of Art & Design Gopher

[gopher://gopher.mcad.edu/1](http://gopher.mcad.edu/1)

Minneapolis College of Art & Design Gopherの情報や作品。

The Kandinsky Image Archive

gopher://libra.arch.umich.edu/11/Kandinsky

ミシガン大学のWassim Jabi氏がPhotoshopで作った素敵な作品5点。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp